

「間伐・間伐材利用コンクール」応募申込書

～「製品づくり」部門～

受付番号

ふりがな	かぶしがいしゃ わしのぬの
氏名	株式会社 和紙の布 (代表取締役社長 阿部正登)
住所	〒599-0202 大阪府阪南市下出305-1 TEL (072) 473-3102 FAX (072) 472-4408

施工名又は作品名	木糸プロジェクト (間伐材100%和紙による糸を織り込んだ布製品の開発・製作・販売)
製品の開発目的・背景	・大阪府の森林は、森林所有者の高齢化や、相続による都市住民化・所有細分化による担い手不足と、また原木販売価格の長期的な低迷などによる施業意欲の減退により、間伐などの森林施業が進まず、放置され多面的機能が低下した森林が多くなっている。 ・対策として、木材利用を積極的に進める必要があるが、建築分野においては大ロット・安価な他県産材や外材に押され利用が進んでいない。 ・そのため、一般市民が身近に普段から使用できる布製品に間伐材を利用することにより、木材の利用促進を図ることとした。 ・取り組みは、大阪府阪南市を中心とした近隣中小企業のコラボである「はんなん和紙の布工房協議会」を設立し、製品製作・販売を行っている。
製品の特徴	・現在、綿、ウール、シルクなどの原料はほとんどを輸入に頼っている。 ・「木糸」は、国内の間伐材を利用した和紙織物であり、国内で生産可能な唯一の天然資源からなる全く新しい素材である。 ・森林保全、間伐材の有効利用のため、「木糸」を活用した布製品を制作している。
間伐材の樹種名	スギ、ヒノキ
間伐材利用の状況・使用実績	・大阪府南部の森林所有者からチップ化事業者が買い取った間伐材を使用しており、大阪府南部地域の森林整備の一翼を担っている取り組みである。 ・水都おおさか森林の市、大阪府山の日などのオフィシャルグッズに採用される。 ・地元阪南市商工会の理事全員に木糸帽子を着用していただき地域ぐるみでPRしている。 ・南三陸の縫製事業者に木糸生地を提供して復興支援に一役買う。 ・去年APBANKのオフィシャルグッズに採用され木糸のポテンシャルの高さと環境保全の重要性を広めていただいた。
消費・購買の効果等	・弊社グループは阪南市の阪南ブランド14匠に選ばれており阪南市、阪南市商工会が積極的に市内外にPRしている。積極的に各種展示会に出展した結果、他府県の依頼で木糸布の生産を受注し間伐材有効利用にも寄与している。
製品写真	 木糸のできた作業服  木糸布のできたいろいろな雑貨